

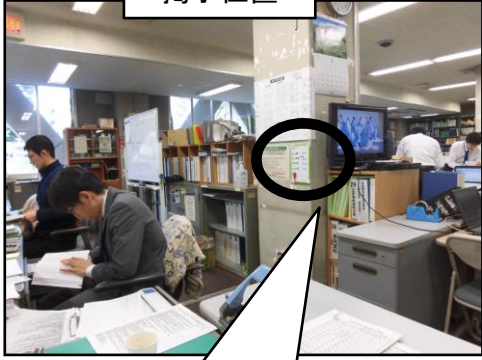
退庁時間の「見える化」による時間外勤務縮減

取組の概要

「見えるボード」をラインごとに周囲から見える位置に設置し、朝礼後の各ラインの申し送りの際に各自退庁予定時間の宣言をしたうえでその時間をボードに書き込み、退庁時間の「見える化」を図る。※三菱東京UFJ銀行の取組を参考

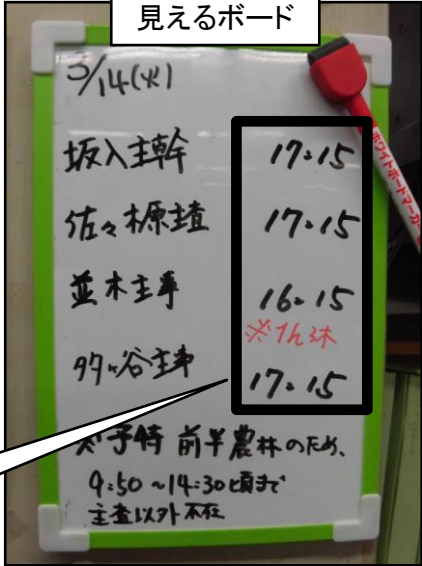
実際の様子

掲示位置



課内の見やすい位置に掲示

見えるボード



各人の退庁時間を記入

氏名	退庁時間
坂入主幹	17:15
佐々原達	17:15
並木主幹	16:15
99-谷主幹	17:15

※1人休
 金子特 前半農林のため、
 9:50~14:30頃まで
 主査以外不在

見込まれる成果・ねらい

- 退庁時間を「見える化」することで、「付き合い残業」が抑止されたり、設定した退庁時間を意識して打合せの時間設定を早めたりと、早期退庁への意識が高まる。
- その日の朝に退庁時間を宣言するため、一日のはじめにその日のスケジュールを考える習慣が身に付き、自然と効率的に仕事を進められるようになる。

取組の成果

時間外勤務の前年度比 ▲19.6%

今後の課題

- ✓ 今後も取組を継続するため、日頃から意識啓発を行う。
- ✓ 取組が形骸化しないようグループリーダーが管理を徹底する。
- ✓ よりよい取組とするため、改善すべき部分があれば積極的に見直しを行う。